

# 福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号  
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 122ヶ所  
布教所数 109ヶ所  
長ふほく数 3285人  
(R182.0月末現在)

## 災害救援ひのきしん隊福島教区 結成50周年記念大会教区巡回 福島教区隊訓練 実施



災害救援ひのきしん隊福島教区隊(生江一行隊長)では、8月31日から9月1日の日程で教区訓練を実施した。

31日は10時に教務支庁で結隊式、その後、教務支庁敷地内の草刈りと表門前庭整備を行い、

20名が参加した。

17時から、来月6月27日に  
おちばで開催される「災害救援ひのきしん隊結成50周年記念大会」に向けて、利光誠治・副本部長の巡回を受け、24名が参加した。利光副本部長は、結成50

周年記念大会に向けた隊員の増員とつながりを求められた後、「九州豪雨災害」における災害隊の活動を振り返り、コロナ禍における活動について出動ガイドラインを再確認した。

1日は二本松市あだたら高原野営場にて、草刈り作業を行い、21名が参加した。9時よりの朝礼で、二本松市役所農業振興課の佐藤課長の挨拶の後、15時迄草刈りを行った。

災害救援ひのきしん隊は、有事に備えて毎年訓練を重ねています。活動に必要な知識や技術を身につけるほか、隊としての統率のとれた行動がとれるよう心がけています。連日、天候に恵まれて、喜び喜ばれる訓練が行えたように思います。

(K・N)

# コロナ禍で各種行事の中止

## 本部月次祭参拝規制 続く

新型コロナウイルスの新規感染者数は、4月半ばをピークに減少し、5月25日に「緊急事態宣言」が解除された。しかし、6月下旬に首都圏を中心に再び増加し始め、7月には全国的に拡大し、8月上旬には1千600人を超える日もあった。そのような状況の中、社会的経済的活動は、感染予防に留意しながら徐々に進められてきている。

本部月次祭に参拝できないよう信者が、教会や家族など少人数でおぢばがえりをしている。その一方で、10月の「青年会総会」や1月の「お節会」など、不特定多数の人が集まる行事は中止が発表された。

そのような状況の中、福島教区では毎月2日の教区月次祭も、6月からは、マスク着用の上、神殿内の換気に努め、うがい手洗いを徹底するなどの感染対策を取ったうえで執行されている。教区連絡会もマスク着用の上、スクール形式の机配置で、教職舎会議室より広い神殿横の会議室で行っている。

本部月次祭は、6月に直属教会長と教区長、奈良教区の教会長が代表参拝した後、7月から12月は、各直属教会に人数を割り当てられ、それに従って全国各地の教会長がようぼく信者を代表して参拝することとなった。また、修養科や各講習会も、7月期から受け入れを再開している。また、7月から、土日祝日の正午より「定時のおつとめ」がとめられ、

また、8月からは『天理時報』の手配りも、マスク着用、ポスティングという形で、全支部で再開された。「成人塾」も感染予防の上から例年と

形を変えて行われ、「災救隊教区訓練」及び「結成50周年記念大会巡回」も、感染対策を取ったうえで開催された。しかし、9月の「全教一斉にをいがけデー」を始め、学生会の「ワーク&トークin福島」、少年会の「親子キャンプ」や9月の「基礎講座」が、地域や会場の状況などから延期や中止にせざるを得ないなど、例年通りの活動がなかなかできなくなっている。

中山はるえ・婦人会長様は、「行事や講習会に参加して成人させて頂くことができるのですが、それに頼るだけではなく、常日頃から自主的に教えを求めて育つ努力をすること、また育てる立場としては、日々に心をかけて育てることこそが大事だと思っています。」と述べられています。『みちのだい』第196号より)

できていたことができない状況の中、それぞれが今できることを実行させていただきましょう。(Z・F)

青年会

「令和2年7月豪雨」の被災地へ

支援物資を募り、送る

7月初旬、九州や中部地方などで記録的な豪雨により、河川の決壊・氾

濫や土砂崩れが多数発生した。特に熊本県では、球磨川で10数か所氾濫し、大きな被害が出た。

この被害の報を受け、昨年10月、福島でも台風の影響で中通りや浜通りで複数の河川が氾濫し、災救援本部が入って支援活動を行うなどして



拝啓 九月とはいえ残暑厳しく、涼風の待たれるこの頃いかがお過ごしでしょうか。さて、この度の令和二年七月の熊本豪雨災害に際しましては、温かい励ましのご支援、お心遣いを賜り、誠にありがとうございました。皆様から預かりました支援物資、義援金は被災地の皆様に喜んでもらえよう。確実に届けさせて頂いております。しかしながら、初めての支援物資扱点先となりまして、不慣れな点や足りぬ事ばかりで、お礼の言葉が遅く、申し訳ありません。被災地はまだまだ復興の途中であり、出まることがコッソツとさせていただきます。今後とも引き続き支援賜りますようお願い申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

支援物資をネット購入し送付した。また、被災地での復興支援活動では必要だろうと、ウエスを8月2日と期限を切って募集。教務支庁に集まったウエス11箱を熊本の拠点へ送った。(N・U)

牛坂委員長より

半ば思い付きの行動でございましたので、皆様方には急なお話を持つて行く形になりましたことをお詫び申し上げますと共に、その中でも心寄せを、またアドバイスをしていただきました。またアドバイスをしていただきました方々に厚く御礼申し上げます。お陰様で被災して間もなくの時期に送らせていただきましたので、私の考えではございますが、必ず役に立って下さったと思っております。また、今回の事についての御礼状もいただきました。

会の3つの拠点に集まった、トイレツトペーパー、ティッシュペーパー、タオル、ごみ袋、マスクなどの物資計10箱を、7月11日、熊本県で支援活動を行っていた天島分教会へ送った。また、支援金を使つて

この度は教区青年会支援活動の一端を担って頂きましたことを重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。



**道の教職員  
の集い**

**「成人塾」を会場を分けて開催**

道の教職員の集い（古川善一代表世話人）では、8月9日磐城平大教会、11日會津平分教会と、会場を分けて「成人塾」を開催、計9名の児童生徒が参加した。

例年、教務支庁を会場に1泊

2日で開催していたが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況で、例年通りでは「三密」を避けることができないことから、会場を3つ（福島会場は参加者なし）に分けることで参加者を分散させ、スタッフも最小限でという形で開催した。

参加者は、時間いっぱい夏休みの宿題やプリントを使つての1学期の復習をした。（Z・F）

**WEBコンテンツを利用しよう！**

天理教のホームページに、布教部や青年会、道友社などが作成した、お道の教えの「聴く」「見る」「読む」に関連するコンテンツが集められています。講話は5分から10分で聴くことができます。

また、婦人会のホームページでは、エッセイやブログを読むことができます。9月18日には女子青年活動の動画もアップされました。

養徳社ではYouTube「陽気チャンネル」を開設。15分程度のお話動画を視聴できます。

布教部では、YouTube「天理の教えチャンネル」を開設。未信仰の人向けの動画が10月1日よりアップされています。

..... **福島教区内の行事** .....

**天理教基礎講座（福島会場）**

【日時】 11月29日（日）午後1時30分～  
 【会場】 福相分教会  
 【講師】 福島教区講師  
 【受講御供】 500円

**道の学生ひのきしん DAY**

【日時】 10月4日（日）午前10時～  
 【会場】 若会分教会集合

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更・中止になる場合があります。

**福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索！**

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)